

人気企画「ピアニスト 100」を受け継ぐ待望の新企画

ピアノ・エトワール・シリーズ

彩の国さいたま芸術劇場の人気企画としてすっかり定着した「ピアニスト 100」も、とうとう3月にはフィナーレを迎える。これに代わり始まるのが、「ピアノ・エトワール・シリーズ」。注目の新鋭ピアニストが続々登場する、更に新しい発展が期待できそうな新企画だ。

Etoile



ラファウ・ブレハッチ Rafal Brechacz

1985年ポーランド生まれ。2003年浜松国際コンクール第2位(1位なし)、04年モロッコ国際コンクール優勝。さらに05年のショパン国際コンクールで、ツィメルマン以来30年ぶりのポーランド人の優勝を果たすとともにすべての副賞を受賞。現在はボボヴァ=ズイドロン教授に師事しながら、世界各地で演奏活動を行っている。



イリヤ・ラシュコフスキー Ilya Rashkovskiy

1984年ロシアのシベリア生まれ。98年ウラジミール・クライネフ国際コンクール優勝、2001年ロン=ティボー国際音楽コンクール第2位、05年香港国際ピアノ・コンクール(審査員長:アシュケナージ)優勝。02年に初来日。自在な表現、音楽性の高さ、卓越した技巧は日本の聴衆からも絶大な支持を得ている。



デイヴィッド・グレイルザンマー David Greilsammer

1977年イスラエル生まれ。6歳でアメリカ・イスラエル賞受賞。2004年ジュリアード国際協奏曲コンクールで、シュールホフの協奏曲をアメリカ初演して優勝。以後、世界各地で活動の場を広げている。06年発売のモーツァルトの初期ピアノ協奏曲を弾き振りしたCDは、ル・モンド紙をはじめ主要紙から高い評価を得ている。



小菅 優 YU KOSUGE

1983年東京生まれ。10歳よりヨーロッパに住み、演奏活動を重ねる。2000年、ショパンの練習曲集録音が、ドイツ最大の音楽批評誌「フォノ・フォルム」で5つ星を獲得。02年新日録音音楽賞、04年アメリカ・ワシントン賞受賞。06年8月のザルツブルク音楽祭で、日本人ピアニストとしては2人目のリサイタル・デビューを成功で飾る。

10年間にわたった「ピアニスト100」も、21世紀を担う若い才能に未来への希望を託して終了する。その期待の想いを受け継いで、新たに始まるのが、「ピアノ・エトワール・シリーズ」。フランス語で「星」を意味する「エトワール」という文字通り、期待の星達の演奏をお届けしようというこの企画、出演するのはいずれも、並外れた音楽性と技巧を併せ持つ、30歳以下の「未来の巨匠たち」。ショパン・コンクール優勝で一躍注目を集めたブレハッチ、17歳でロン=ティボー・コンクール第2位に輝いたラシュコフスキー、自らが結成したアンサンブルとともに開始したモーツァルトの協奏曲録音で評価の高いグレイルザンマー、そしてザルツブルク音楽祭で内田光子以来日本人としては2人目のリサイタルを成功させた小菅優。おのおの得意のレパートリーで構成したプログラムで充実の演奏が聴けるに違いない。どうぞお聴き逃しなく!

ピアノ・エトワール・シリーズ NEW

- 【公演内容】
- Vol.1 ラファウ・ブレハッチ 6月17日(日) 開演 16:00
ショパン:《24の前奏曲》より第13~24番 ほか
 - Vol.2 イリヤ・ラシュコフスキー 9月8日(土) 開演 14:00
シューベルト:4つの即興曲 Op.90 ワグナー=リスト:イゾルデの愛の死 ほか
 - Vol.3 デイヴィッド・グレイルザンマー 11月23日(金・祝) 開演 14:00
モーツァルト:幻想曲 ハ短調 KV475 グラナドス:《ゴイエスカス》より《愛と死》ほか
 - Vol.4 小菅 優 12月9日(日) 開演 15:00
バッハ:インヴェンションとシンフォニア 全曲 リスト:ピアノ・ソナタ 口短調 ほか
- 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
- 【チケット(税込)】
- 4回セット券 S席セット12,000円/A席セット8,500円
 - 1回券 Vol.1 S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円/メンバーズS席3,150円
- 【発売日】
- 4回セット券 メンバーズ 2月3日(土) 一般発売 2月10日(土)
 - 1回券 Vol.1 メンバーズ 3月3日(土) 一般発売 3月10日(土) Vol.2以降は順次発売いたします。

天使の歌声で至福のひとときを。

ウィーン少年合唱団

日本でもすっかりお馴染みのウィーン少年合唱団が、彩の国さいたま芸術劇場に初登場! “天使の歌声”と称えられる澄んだ合唱は、今も世界中で多くの人々を魅了してやまない。その歌声に酔いしれる、至福のひとときを味わいたい。



500年以上に及ぶ歴史には音楽の巨星もズラリ

日本にも度々来日し、幅広い層のファンを持つウィーン少年合唱団だが、その始まりは500年以上も前に遡ることは意外にあまり知られていないかもしれない。

時は1498年。神聖ローマ皇帝マキシミアン1世が宮廷をウィーンに移した際のことで。宮廷に伴い宮廷音楽家も移動したが、その際に6人の少年を含めるべき、との厳命によって、宮廷楽団、ひいては宮廷少年合唱団の礎が築かれたのだ。以後、この宮廷少年合唱団は、オーストリア=ハンガリー帝国が解体される1918年まで、宮廷のためだけに演奏していたのである。その長い歴史のなかには、共演者として、ハインリヒ・イザーク、クリストフ・ヴィリバルト・グルック、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト、アントン・ブルックナーらが、また団員として、ハイドン兄弟(代理メンバーとして)、フランツ・シューベルトらの名前が、きら星のごとく登場する。

しかし、その輝かしい歴史にもかかわらず見えない時代があった。1918年の帝国崩壊により、少年合唱団は危機に瀕したのだ。その苦難の時期を救ったのが、1921年より王宮礼拝堂長を勤めたヨーゼフ・シュミット。彼は合唱団を私立の社団にして、「ウィーン少年合唱団」として活動を継続、王宮礼拝堂以外に、海外にまで活動の場を広げたのである。その後の活躍ぶりは、よく知られるところだ。

ウィーン少年合唱団

- 【日時】5月3日(木・祝) 開演 14:00
- 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
- 【曲目】
- M. ハイドン:アレレヤ/サン=サーンス:アヴェ・マリア
 - 世界の歌(日本=ふるさと、アメリカ=アメージング・グレイス、ロシア=カリンカ ほか)
 - 成田為三:浜辺の歌/ヴェルナー:野ばら/シューマン:流浪の民
 - J. シュトラウスII:美しく青きドナウ ほか
- 【出演】ウィーン少年合唱団 マルティン・シュベスタ(指揮)
- 【チケット(税込)】発売中
- 一般(高校生以上)5,000円 小・中学生 2,000円 メンバーズ 一般 4,500円

年間50万人の聴衆を魅了し、レパートリーも幅広く活動

現在は、10歳から14歳のメンバー約100名が、4つのグループに分かれて活動している。この4合唱団が開催するコンサートは、年間約300回、実に50万人にも及ぶ聴衆を集めているという。海外へのツアーはもちろんのこと、現在もウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やウィーン国立歌劇場合唱団のメンバーとともに、宮廷礼拝堂での勤めも重要な役目であり、帝国の伝統を今なお受け継いでいる。

最近では、レパートリーもクラシックにとどまらず、ポップスや世界の音楽にまで広がり、クロス・オーバーのプロジェクトに参加したり、子供オペラに継続的に取り組んだり……などなど、その活躍ぶりはとどまるところを知らない。

NEW

速報!

ブラスの最高峰、ニューヨーク・フィルのブラス・セクションの名手達がやってくる!!



ニューヨーク・フィル・ブラス・クインテット

- 【日時】7月7日(土) 開演 16:00
- 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
- 【チケット(税込)】一般 4,500円 学生 1,500円 メンバーズ 一般 4,050円
- 【発売日】メンバーズ 2月17日(土) 一般 2月24日(土)
- ※出演メンバーについては、次号でお知らせいたします。